

報道関係者と民博との懇談会

話題一覧

2023年7月20日(木)15:30~17:00

懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

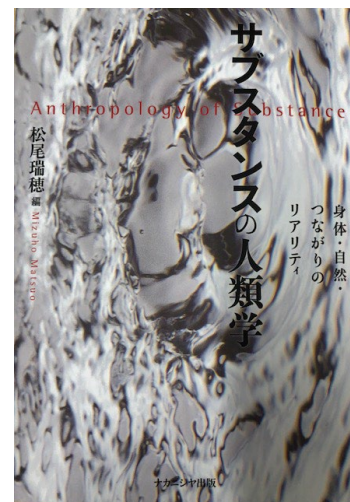
— 園田 直子 (議長)—

3. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

『サブスタンスの人類学—身体・自然・つながりのリアリティ』

(松尾瑞穂 編/ナカニシヤ出版)



— 松尾 瑞穂 (超域フィールド科学研究部 准教授)—

4. 特別展「交感する神と人—ヒンドゥー神像の世界」

[詳しくはこちら](#)

ヒンドゥー教世界では神像には実際に神が宿るものとされます。人びとは五感を通じ像に宿る神と親しく交流します。本特別展では、さまざまなモノに現れる神がみの姿やそれらに働きかける人びとの営みを紹介し、神との交感を核とする信仰の世界に迫ります。



パール・ゴーパール(幼子クリシュナ) 撮影: 増田大輔
撮影協力: 株式会社 エスパ

会 期: 2023年9月14日(木)~12月5日(火)

会 場: 国立民族学博物館 特別展示館

観覧料: 一般 880円(600円)、
大学生 450円(250円)、高校生以下 無料

※()は20名以上の団体料金、

リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます

— 三尾 稔 (グローバル現象研究部 教授)—

5. 企画展「カナダ北西海岸先住民のアート——スクリーン版画の世界」

詳しくはこちら

北アメリカ北西海岸地域の先住民は、巨大なトーテムポールやカヌーを制作することで有名です。伝統文化の創造的継承のために1960年代から神話や口頭伝承、事件、体験などをモチーフとして版画制作を始めました。本展示では、北西海岸先住民のユニークな作品を通して彼ら/彼女らの共生の世界観や体験してきた社会変化を紹介します。



スクリーン版画「カエル (Kwagulth Frog)」民族:クワクワカワクウ (Kwakwaka'wakw) リチャード・ハント (Richard Hunt) 作 1980年制作

会 期：2023年9月7日(木)～12月12日(火)
会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場
観覧料：一般 580 円 (490 円)、
大学生 250 円 (200 円)、高校生以下 無料
※ () は 20 名以上の団体料金/
リピーターは団体料金を適用
※本館展示もご覧いただけます

— 岸上 伸啓 (副館長・学術資源研究開発センター 教授) —

6. 展示解説 コレクション展示「ハンターのみた地球」

詳しくはこちら

現在開催中のコレクション展の見どころを展示場にて解説します。
(Zoomでのライブ配信も予定)

会 期：2023年7月6日(木)～8月8日(火)
会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場の一部
観覧料：一般 580 円 (490 円)、
大学生 250 円 (200 円)、高校生以下 無料
※ () は 20 名以上の団体料金/
リピーターは団体料金を適用
※本館展示もご覧いただけます



マタギ

— 池谷 和信 (人類文明誌研究部 教授) —

※その他の配布資料 外来研究員受入一覧 (資料8)